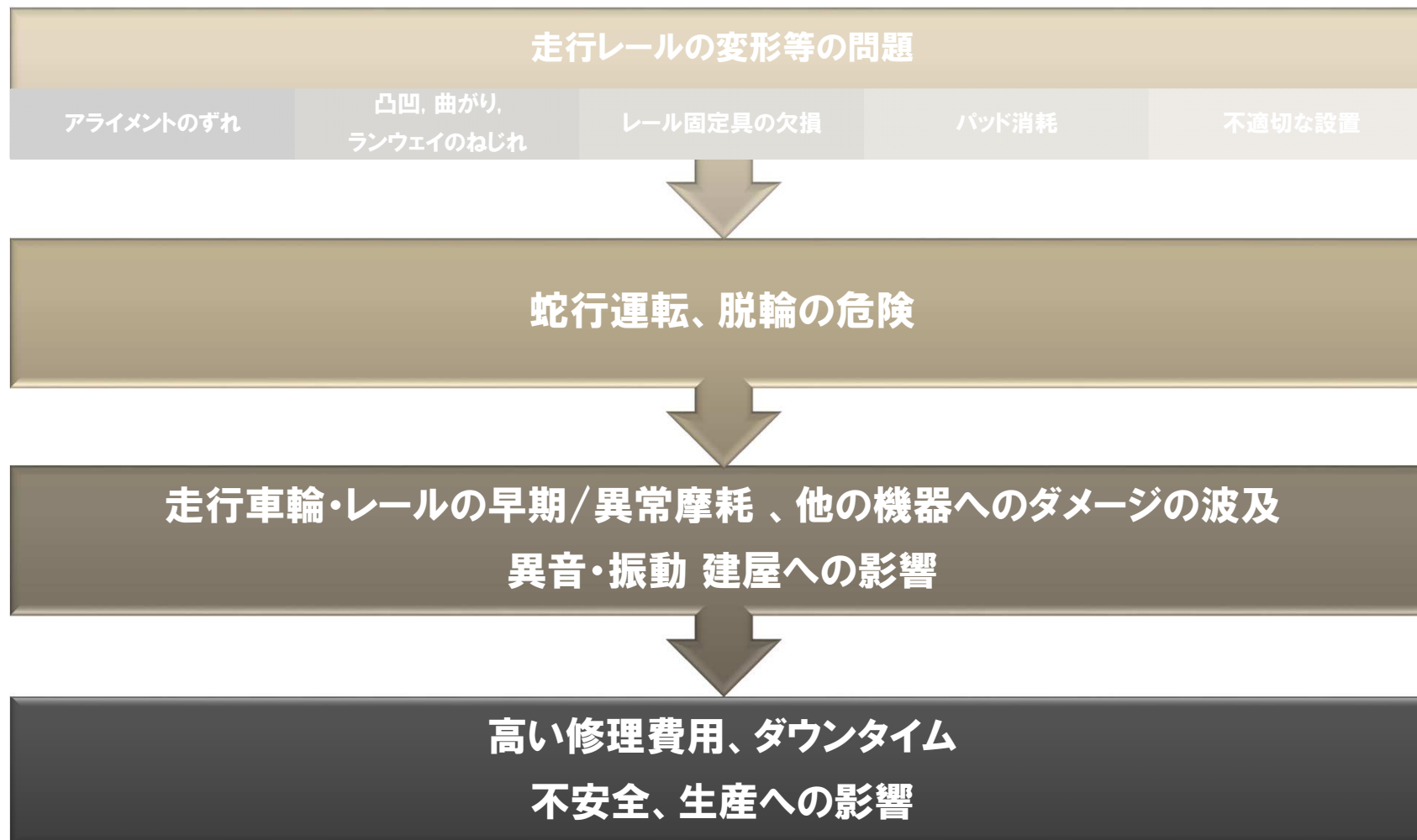


クレーンユーザー様のご心配





**私たちは
適切な解決策をご提案します**

安全かつスムーズな走行



安全性と生産性の確保

ダウンタイムと修理費用の減少

RailQ
より速く、より安全でより正確です。

従来の計測とは全く異なる当社独自の遠隔操作のロボットを用いた調査により、他のレール調査よりも
より速く、より安全で正確です。

- 少ないダウンタイム
- 安全な施工
- 正確なデータ

最適かつ費用対効果が高い
修正措置をご提案します。



RailQ 走行レール調査 最先端の方法

ツールと方法

- トータルステーション(トリンプル S8)
- プリズム(Roborail)
- 目視検査
- 分析と可視化ソフトウェア
★適合: レール幅40-120mm

結果

- 3D Viewerによる報告書の提出
- アライメントや他の問題を特定
- 3Dと2Dグラフによるわかり易い調査結果
- 最適な修正方法をご提案
 - 修正措置
 - 費用対効果が高い解決策

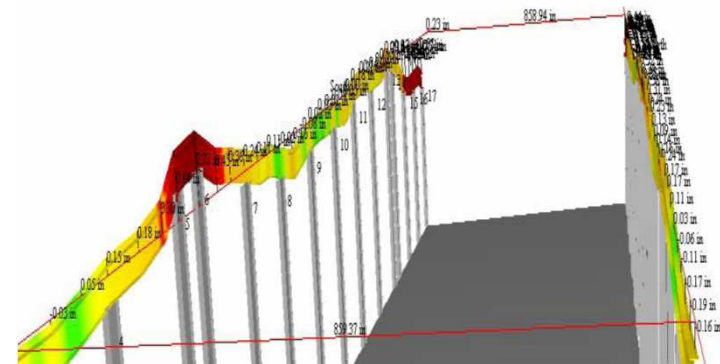
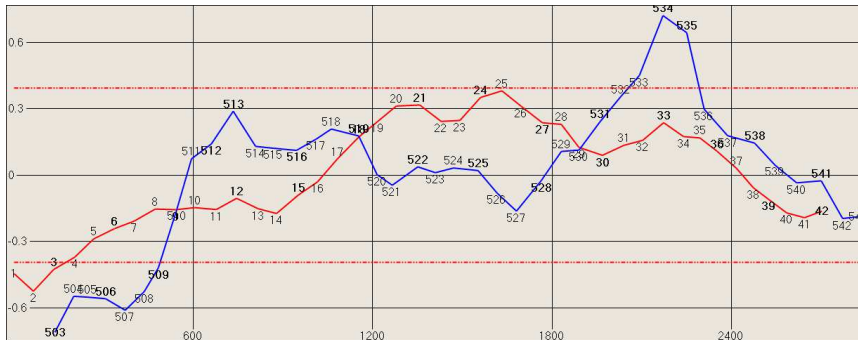
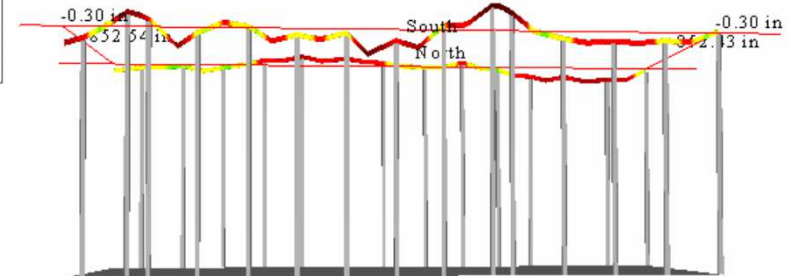
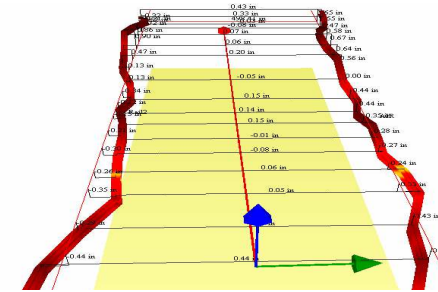


RailQ走行レール調査 報告書サンプル



2.2 Visual Inspection of Runway

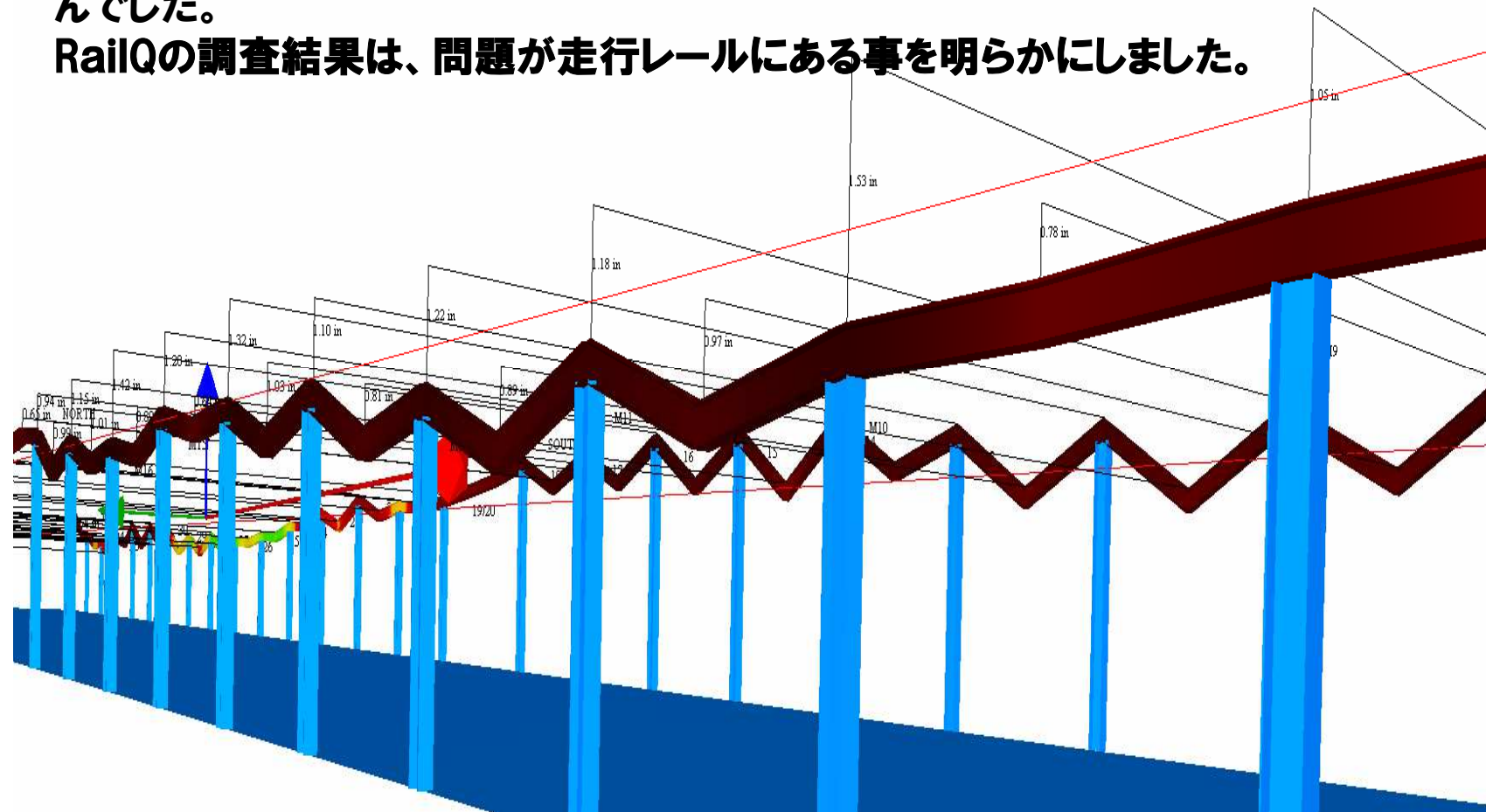
The points on the runway that had marks from the end truck rubbing the rail were between column 5 and 6 at column number 9 and just east of column 13. The scrape mark between 5 and 6 is the most severe. The survey shows that the end truck at 20' wheel spread cannot negotiate the runway in its present condition without bottoming out. Under load the high spot at column 5-6 and the negative camber on runway girders allows the crane to become stalled while trying to travel in the problem areas near drum A and C.



RailQ走行レール調査 事例

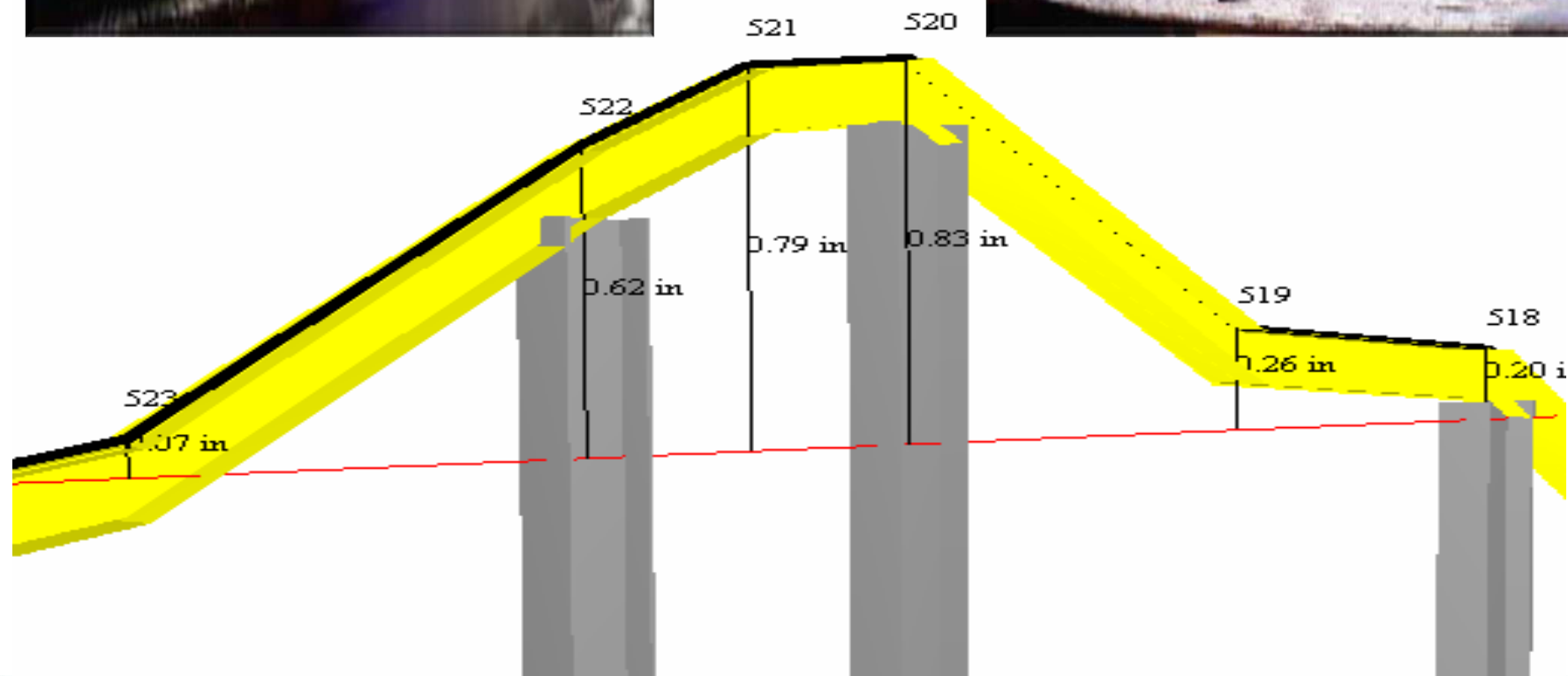
既設建屋の走行レールに設置された新しいクレーンは、計画どおりには走行出来ませんでした。

RailQの調査結果は、問題が走行レールにある事を明らかにしました。



RailQ走行レール調査 事例 詳細な結果

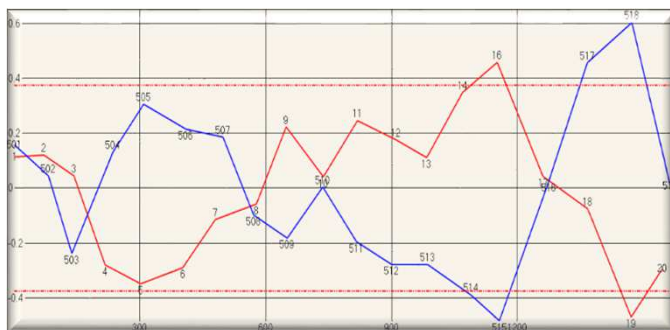
走行レールのうねりはクレーンの底突きを引き起こしました



RailQ走行レール調査 クレーンの性能維持のために

• 典型的な走行レールの問題

- 不適当なスパン
- 直進性の不備
- 不適切なレベル
- レール間の段差



• クレーンを長くご使用するために

• クレーン更新・増設のために

• 新設建屋へのクレーン設置のために

クレーン本来の性能を発揮する為には定期的な調査が必要です。

RailQ走行レール調査 お約束します

迅速

- ・ 短時間の調査によりダウンタイムの縮小に貢献します

安全

- ・ 走行レール上を歩く必要が無い為、より安全な作業を行う事が出来ます

正確

- ・ 従来の方法では追従出来ない正確さを実現しました。
- ・ 測定範囲600m

報告書と共に最適で費用対効果の高い修正方法をご提案します。

より安全な方法でクレーンの生産性向上のサポートをします。

修理期間とダウンタイムの短縮に貢献します。